

産業能率大学 経営学部

コミュニケーションの方法	履修年次	1	
	単位	2	
藤原 由美、新井 幸子、恵志 泰成、櫻井 恵里子、佐々木 順子、 土井 久美子、福島 巨之、皆川 雅樹	配当期	前	
	授業方法	演習/対面	
<b>授業の内容</b>			
<p>[授業の概要]</p> <p>まず、コミュニケーションの本質に関する理解を促す。その上で前半では、新しい聴き方と話し方を中心に、相互理解と意味共有を促進させるコミュニケーション・スキルを身につける。具体的には、相手のニーズ(期待や要求)を引き出すアクティブ・リスニングを相互演習を通して身につけるとともに、質問の技術、アサーティブ・コミュニケーションを学習する。後半では、異なる文化間のコミュニケーションや、コミュニケーションの過程で発生するコンフリクト(衝突)などに関してグループ討議を行い、Win-Win の信頼関係構築に向けた良好な態度とは何かについて考察を深める。</p> <p>授業外学習の指示、提出は manaba で行う。</p>			
<b>この科目の到達目標</b>			
<ul style="list-style-type: none"> <li>・積極的な傾聴や建設的の自己主張など、他者との相互理解を図る上で重要なコミュニケーション・スキルを実践の場で活用できる。</li> <li>・コミュニケーションの本質を理解し、その特徴を具体的な事例を交えて、他者にわかりやすく説明することができる。</li> <li>・異なる文化間においても、常に良好な人間関係の構築に向けたコミュニケーションの創造を目指すことができる。</li> </ul>			
<b>成績評価の方法</b>			
授業への取り組み姿勢、授業出席、授業外学習、課題提出、中間レポート、定期試験の結果により総合的に評価する。			
週	授業項目	週	授業項目
1	コミュニケーションとは何か	8	Win-Win の構築話し方②
2	コミュニケーション一般理論	9	心の通うコミュニケーション
3	アクティブ・リスニング聴き方①	10	文化の違いを超えるコミュニケーション
4	非言語スキル聴き方②	11	異文化間コミュニケーション実践
5	心の階層構造と共感	12	コンフリクト(衝突)への対応
6	質問の技術	13	タイプ別対人対応法
7	アサーティブ・コミュニケーション話し方①	14	自分の意見と他者の意見の比較・まとめ